

NEWS RELEASE

HyperX、デュアルチャンバードライバを採用した ゲーミングヘッドセット「HyperX Cloud Alpha」を発売

- 台湾・台北市, 2017 年 9 月 1 日 - Kingston Technology は、高性能デバイス向けブランドである [HyperX™](#) のゲーミングヘッドセットのラインナップに、デュアルチャンバー技術を採用し、正確でスムーズなオーディオ再生を実現した「HyperX Cloud Alpha」を発表し、9 月 21 日より販売を開始いたします。また、これに先駆け、本日、9 月 1 日より Amazon.co.jp や一部販売店にて、先行予約販売を開始いたします。市場想定価格(税込)は、12,981 円です。



Cloud Alpha では、ネオジム磁石 50mm 径ドライバを採用するとともに、低音の周波数を中高音域から分離すべく、2 層構造のデュアルチャンバー技術を採用することで、歪みのないくっきりとしたオーディオ再生を可能にしています。また、長くお使いいただけるよう、耐久性と安定性を追求したアルミニウムフレーム構造を採用。数々の受賞歴を誇る、赤いメモリフォームや拡張ヘッドバンド、ソフトかつしなやかなつけ心地のレーザーカットにより、長時間のゲームプレイでも高い快適性を実現いたしました。

マイクには Discord や TeamSpeak に認定された取り外し可能なノイズキャンセリングマイクを採用し、チーム間の円滑なコミュニケーションをサポート。また、ヘッドセットのケーブルも本体から着脱可能で、耐久性にすぐれた布巻ケーブルには、PC や PS4、Xbox One などでも利用可能なインラインオーディオコントローラを備えます。

本製品の主な仕様は以下のとおりです。

【製品仕様】

製品名	HyperX Cloud Alpha
ヘッドホンドライバー	ネオジム磁石 カスタムダイナミック50mm径
ヘッドホンタイプ	サーカムオーラル、密閉型
ヘッドホン周波数応答	13Hz～27,000Hz
インピーダンス	65 Ω
音圧レベル	98dB SPL/mW (1kHz時)
T.H.D.	1%未満
重量	298g / 336g (マイクおよびケーブルを含む)
ケーブル	着脱可能1.3m / 2mのPC延長ケーブル付属
接続方式	3.5mmプラグ (4極)
PC接続インターフェース	3.5mmステレオおよびマイクプラグ
マイク方式	エレクトレットコンデンサマイク
マイク極性パターン	ノイズキャンセリング
マイク周波数応答	50Hz～18,000Hz
マイク感度	-43dBV (0dB=1V/Pa, 1kHz)

【製品情報】

<http://www.hyperxgaming.com/jp/headsets/cloud-alpha-pro-gaming-headset>

【Amazon.co.jp 先行予約ページ】

<https://www.amazon.co.jp/dp/B074W1M6XS>

HyperX について

HyperX は、世界最大の独立メモリベンダーKingston Technology の一部門です。HyperX は、高速 DDR4 および DDR3 メモリ、SSD、USB フラッシュドライブ、およびゲームアクセサリを含む高性能製品を開発・展開しています。ゲーマー、オーバークロッカー、パワーユーザーをターゲットにした HyperX は、世界中で品質、性能、革新性の高さが知られています。HyperX は、世界中の 30 チーム以上をスポンサーし、Intel Extreme Masters の主なスポンサーを務めるなど、eSports に真剣に取り組んでいます。また、HyperX 製品は、China Joy、PAX、DreamHack、ESL One などの多くのショーでも見ることができます。

詳細については、HyperX のホームページをご覧ください。

□お客さまからのお問い合わせ先

Web お問い合わせフォーム：<http://www.hyperxgaming.com/jp/support/technical/emailsupport>

URL：<http://www.hyperxgaming.com/jp>

Twitter アカウント：[@HyperXJapan](https://twitter.com/HyperXJapan)

□報道関係者さまからのお問い合わせ先

HaNaRe PR Group

E-mail：press@hanare-pr.jp

###

Kingston, Kingston ロゴ, HyperX は Kingston Technology Corporation の登録商標であり、すべての権利を有します。他のすべてのマークは、それぞれのタイトル所有者の資産である場合があります。